

専門試験（少年補導職員）

[例題1] アッシュ (Asch, S.E.) は、架空の人物の特徴をいくつかの特性語によって提示し、そこから印象を形成させるという手続による一連の実験を行った。この実験に関する次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア. 初めの方に提示された特性語が最終的に形成される印象に大きな影響を及ぼすという新近効果を見いだした。
- イ. 個々の情報に基づく印象が寄せ集まって全体的印象ができるのではないことを示した。
- ウ. 同じ特性を組み合わせて人物を記述する場合、その提示順序を変化させても同じような印象が形成されることを明らかにした。
- エ. 同じ特性語であっても、他に提示される特性語が異なると、その文脈によって意味が変わることを示した。

- 1. ア, イ
- 2. ア, エ
- 3. イ, ウ
- 4. イ, エ
- 5. ウ, エ

正答 4

[例題2] 近年の社会的養護の現状及び制度改正の動向に関する次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア. 里親やファミリーホームに委託された要保護児童の数は増加する傾向にある。
- イ. 社会的養護を必要とする児童においては、全体的に障害等のある児童が増加する傾向にある。
- ウ. 満20歳に達した者については、児童自立生活援助事業の対象から一律に除外されることになった。
- エ. 民間事業者が養子縁組あっせん事業を実施する場合、従来は都道府県知事の許可を受ける必要があったが、法改正によって市町村長への届出のみで事業実施が可能となった。

- 1. ア, イ
- 2. ア, エ
- 3. イ, ウ
- 4. イ, エ
- 5. ウ, エ

正答 1